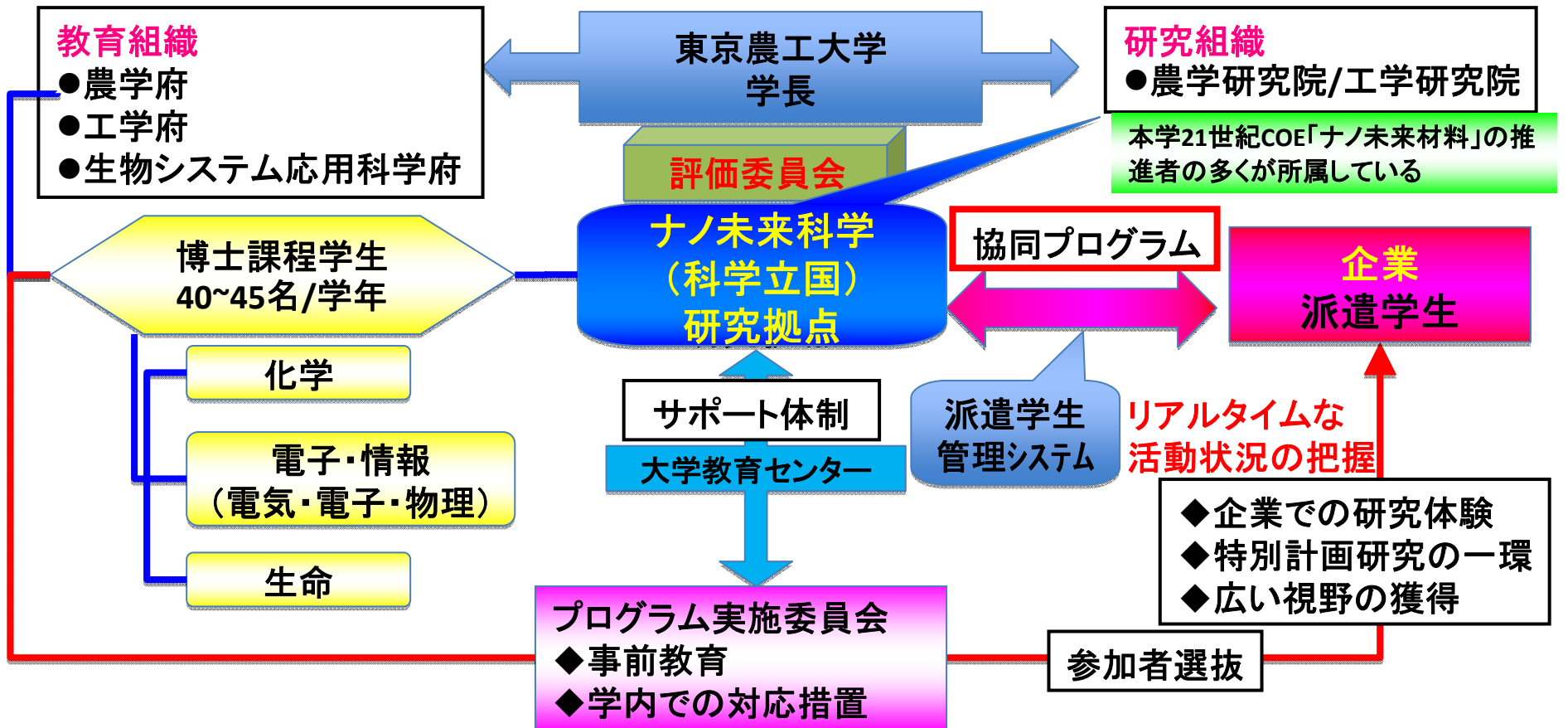


東京農工大学

取組名称: 先端研究開発志向の人材育成共同プログラム

【取組概要】

次世代の研究開発をリードしうる人材の育成を目的とし、事前教育を受けさせた博士後期課程の学生を企業に2~3ヶ月派遣して学位論文テーマとは、異なる研究に従事させ、事後教育を行った。



【成果等】

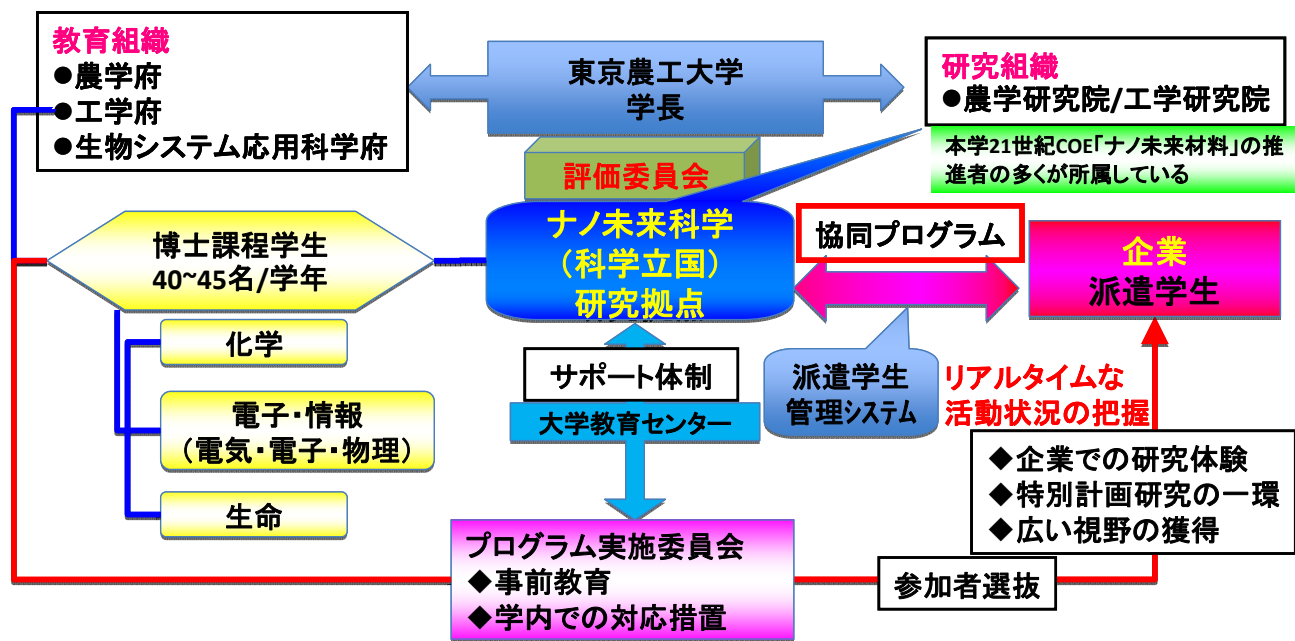
事前教育として、「研究マネジメント特論」を開講し、インターンシップとして12名の博士後期課程の学生を企業に派遣した。事後学習として報告会を行い、その内容を評価し、「特別計画研究」という必修科目として単位を付与した。その他工場見学、ビジネスプランセミナー、就職説明会などを開催した。

産学連携による実践型人材育成事業 ー長期インターンシップ・プログラム開発ー
最終評価結果

大 学 名	東京農工大学
教育プロジェクト名称	先端研究開発指向の人材育成共同プログラム
事業責任者	工学府 応用化学専攻 教授 松岡 正邦

事業概要

次世代の研究開発をリードしうる人材の育成を目的とし、事前教育を受けさせた博士後期課程の学生を企業に2~3ヶ月派遣して学位論文テーマとは、異なる研究に従事させ、事後教育を行った。



最終評価結果

(総合評価) S: 所期の計画を超えた取組が行われた

コメント

《優れた点》

1. 博士後期課程の院生を対象を絞り、かつ、博士論文とは異なるテーマを対象とした優れた特徴を有する意欲的な取組である。履修者の知見の幅拡大に資する内容であると評価できる。

《改善を要する点》

1. 履修者を絞ることにより、結果として履修者数が11名と少ないこと、生命工学系企業との連携が得られなかった点は、今後の課題である。
2. 「イノベーション推進機構」をベースに引き続き活動する中で、対象企業の業種の拡大と、テーマの拡大による履修者数の増加にぜひ取り組んで欲しい。